

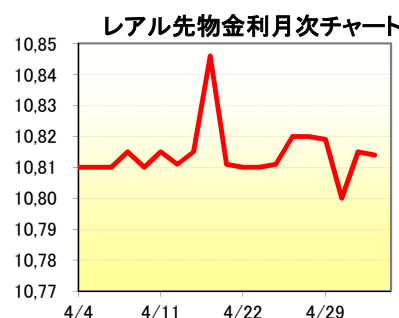
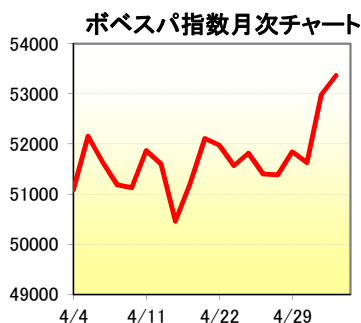
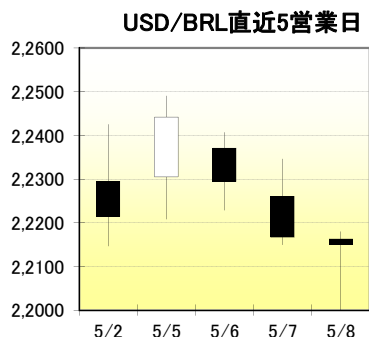
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	5月9日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2440	2,2290	2,2170	2,2150	2,2130	-0,0020
	USD/YEN	Spot	102,14	101,67	101,92	101,66	101,86	+0,2000
	EUR/USD	Spot	1,3876	1,3930	1,3911	1,3839	1,3758	-0,0081
	BRL/YEN	Spot	45,51	45,60	45,98	45,90	46,03	+0,1300
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0,68	0,62	0,65	0,75	0,84	+0,0830
		1Year(p.a.)	0,98	0,92	0,94	1,03	1,11	+0,0870
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,93	10,92	10,92	10,96	10,92	-0,0337
		1Year(p.a.)	11,32	11,35	11,30	11,35	11,28	-0,0664
Stock	Bovespa		53.446	53.780	54.053	53.422	53.100	-322,03
Bond	CDS Brazil 5y		145,00	147,00	147,00	144,70	145,00	+0,3000
	Global 40		112,950	112,950	112,950	112,950	112,500	-0,4500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
IGP-M Inflation 1st Preview	0.39%	0.06%	0.72%	なし
IBGEインフPCA(前月比)	0.79%	0.67%	0.92%	
IBGEインフレ率IPCA(前年比)	6.41%	6.28%	6.15%	
自動車生産台数	--	277091	272803	

4. 週間市況、トピックス

- ・ 今週の為替相場は US\$1=R\$2. 2370 で寄り付いた。
- ・ 週初はウクライナ東部での衝突激化が懸念されたほか、中国の製造業活動が 4 カ月連続で縮小したことからリスク資産の売りが優勢となった。レアルは寄り付き後、一時買いが優勢となるも、直後から上記を受けて売りに反転した。更に伯中銀が 5 月末に満期を迎えるドル売り Swap ポジションのロールオーバーの規模を縮小させたことからレアル売りに拍車がかかり、レアルは午後にかけてじりじりと続落、週間安値となる US\$1=R\$2. 2490 まで下値を拡大した。
- ・ 翌 6 日にはウクライナをめぐるロシアとの対立を受けリスク回避の動きが見られる中、ポジション調整と思しきレアル買いが見られるとレアルは 2. 22 台後半まで買い戻された。
- ・ 週央にかけては伯中銀によるドル売り介入のほか、FRB のイエレン議長がインフレや雇用の指標は依然として金融当局の目標から程遠い状況にあるとし、当局は経済成長押し上げに向け支援を継続する必要があるとの認識を示したことからドルは対主要で下落、レアルはじりじりと買い戻された。
- ・ 翌 8 日には中国の 4 月の輸出入が市場予想に反して増加したことが好感され、リスク資産の買いが見られるとレアルは週間高値となる US\$1=R\$2. 2000 まで買い進まれた。
- ・ 週末にかけては伯インフレ指数が予想を大きく下回ったことから先物金利は大きく下落、レアルは 2. 22 台前半まで反落した後、引けにかけて小反発し、結局 US\$1=R\$2. 2130 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
5/12	FIPE CPI-週次	May 7	--	0.57%
5/12	貿易収支(週次)	May 11	--	--
5/14	登録雇用創出合計	Apr	--	13.117
5/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	May	--	1.19%
5/15	小売売上高(前月比)	Mar	--	0.2%
5/15	小売売上高(前年比)	Mar	0.1%	8.5%
5/15	広義小売売上高(前年比)	Mar	--	8.4%
5/16	FGV CPI IPC-S	May 15	0.78%	0.84%
5/16	経済活動(前月比)	Mar	0.50%	0.24%
5/16	経済活動(前年比)	Mar	2.75%	4.04%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.20—2.25

今週はウクライナ危機を巡る動向が注目され、リスク回避の動きが見られたほか、ブラジル中銀が5月末に満期を迎えるドル売り Swap ポジションのロールオーバーの規模を縮小させたことからレアル安に圧力をかけた。しかしルセフ大統領の支持率低下が好感されたほか、イエレン FRB 議長のハト派的な発言からレアルはサポートされる展開となった。来週は国内では重要な経済指標の発表が多く見られない一方、海外ではイエレン FRB 議長のスピーチを控えており、内容次第ではレアル高に拍車をかける可能性があるため、ボラティリティには引き続き注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department